

# ESGへの取り組み(環境)

## ■ 今期の取り組み

### ■ キャナルシティ博多



#### ● 屋上緑化のリニューアル

宿泊客の憩いの場、語らいの場として利用されている屋上庭園をリニューアル。高木、低木、グランドカバー等を何種も植栽することで生物多様性の向上を図る。



#### ● 止水板の更新と新規設置

今後温暖化により頻発・激甚化するとも言われる台風や局地的豪雨による河川氾濫対策として、キャナルシティ博多全体の既設止水板の仕様や設備箇所を見直し、新たな設置及び改修を実施。



既設止水板が基準面<sup>(注)</sup>+50cmに対し、新規止水板は基準面+100cmで設置するため、浸水対策機能が向上。



(注)キャナルシティ博多周辺の最も低い道路に一番近い出入口を「0」とした点を基準としています。

## ■ その他の環境への取り組み

### ■ 商業施設



#### ● 運河水濾過システム(雨水の再利用システム)

##### ◎ キャナルシティ博多

キャナルシティ博多のシンボルである運河は、親水機能と非常時の消防用水としての機能をもっており、この運河には常時約1,200トンの水を貯水。この水には省資源の観点から雨水を利用。



#### ● 中水プラント(厨房排水の再利用システム)

##### ◎ キャナルシティ博多・木の葉モール橋本

キャナルシティ博多と木の葉モール橋本では、飲食店を出る厨房排水を中水として処理したのち、館内のトイレの洗浄水として再利用。

### ■ オフィスビル

#### ◎ LED化推進による省エネ対策

##### LED化の推進

- ・ 呉服町ビジネスセンター(屋内共用部、一部外構など)
- ・ サニックス博多ビル(屋内ダウンライト)
- ・ 大博通りビジネスセンター(エントランス、屋内共用部など)



※サニックス博多ビルでのLED化事例

### ■ その他(物流施設)

#### ◎ 再生可能エネルギーの導入

ロジシティみなと香椎とロジシティ久山では、屋上部分に太陽光発電パネルを設置。



屋上パネル

ロジシティ久山

# ESGへの取り組み(社会)

## テナント・従業員への取り組み

### ■商業施設

#### ●主な感染症対策

- アルコール消毒液、飛沫シートの設置
- ソーシャルディスタンスに関わる注意喚起実施
- テナント従業員の検温等による健康管理の徹底
- 共用部椅子・テーブルの間引き



#### テナント(飲食店)支援

##### ●キャナルお弁当マーケット

平日限定でキャナルシティ博多内の飲食店がテイクアウト弁当を販売  
(6/22-7/17、9/28-10/9 開催)

### ■オフィスビル

#### ●主な感染症対策

- アルコール消毒液の設置(エントランス)
- 共用部等での換気強化
- エレベーター内等に感染症対策の注意喚起を掲示



### ■従業員に向けた取り組み

#### ●主な感染症対策

- サテライトオフィス(福岡市中央区天神)の設置
- 在宅勤務、時差通勤、休日出勤の実施
- マスク、体温計の配布
- 朝礼・会議のオンライン化等

オフィス内・受付の飛沫防止シート、消毒液等の設置



## 《福岡リアルティ 役職員数、有資格者数 他》(2020年8月31日現在)

■社員平均勤続年数：8年10ヶ月

■常勤役職員数：41名(男性20名、女性21名)※女性比率51.2%

- スポンサーからの出向：2名
- スポンサーへの出向者の派遣：4名

#### ■有資格者数(延べ人数)

- |                          |              |
|--------------------------|--------------|
| • 宅地建物取引士：26名            | • 弁護士：1名     |
| • ビル経営管理士：5名             | • 経営学修士：1名   |
| • 一級建築士：2名               | • 行政書士：1名    |
| • 不動産鑑定士：2名              | • 中小企業診断士：1名 |
| • 不動産証券化協会<br>認定マスター：23名 |              |



## 《柔軟な働き方支援》

- 子育て支援(産休・育休制度)
- 介護休暇
- ボランティア休暇
- ノー残業デー
- 福利厚生(401K、累投制度等)
- 有給休暇取得の推進等

## 《キャリア形成支援》

- 従業員満足度調査の実施
- 自己申告制度
- キャリア面談
- 出向制度(スポンサー会社への出向)
- 契約社員から正社員への登用制度

## 《社員向け研修》

- 公共財団法人九州経済調査協会の定例講演会
- コンプライアンス研修
- ESG研修
- 介護研修
- 社内レクリエーション等

- 各役職者に応じた研修プログラム提供
- 資格補助制度(不動産証券化マスター、宅地建物取引士等)
- 語学学習支援等

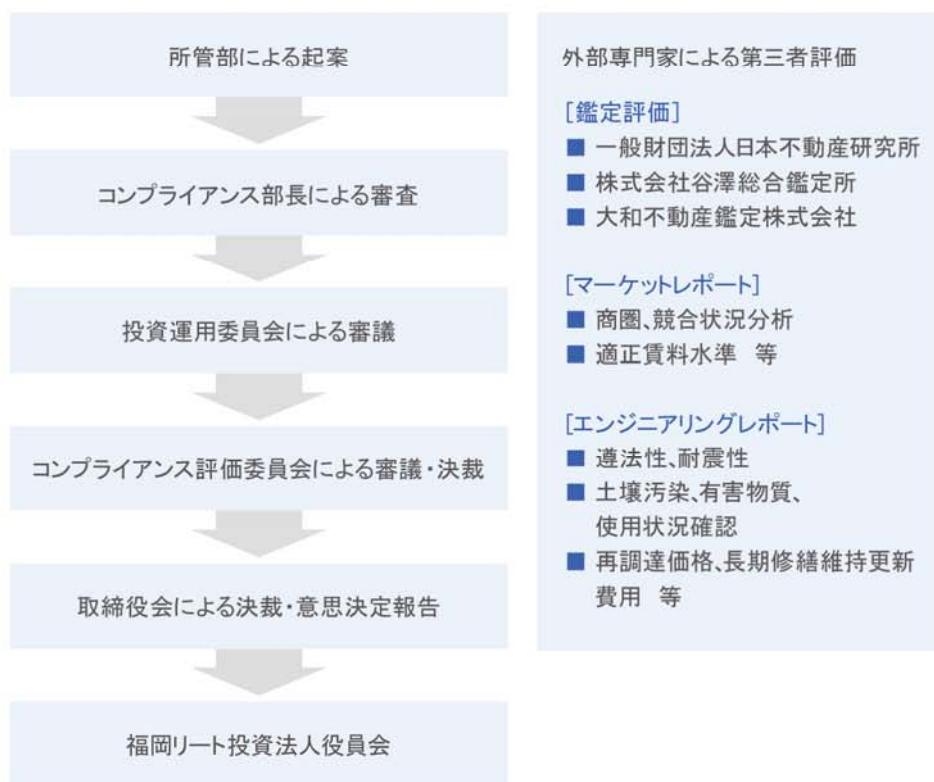


# ESGへの取り組み(ガバナンス)

## ガバナンス体制

当社は、コンプライアンス基本方針、コンプライアンス規程、その他利益相反防止のための社内ルールを定め、これらルールに基づいて、コンプライアンス部長の事前確認、及び、コンプライアンス評価委員会（コンプライアンス部長及び3名の外部専門家で構成）の審議を行い、利害関係者との間の取引における利益相反リスクの適切な管理を行う。

### ◎当社の意思決定プロセス



(注) 投信法第201条の2第1項に定める事項に該当する場合は、投資法人の役員会の事前承認を得ます。

## 投資主利益とスポンサー利益等との共同化

- ・スポンサーによるセიმポート出資  
メインスポンサーである福岡地所株式会社は、第32期末時点で本投資法人の投資口9.18%を保有。
- ・投資口累積投資制度  
本投資法人の投資口価格及び業績向上への意識を高めること及び財産形成の促進を目的として、2015年4月より資産運用会社の役職員を対象とした投資口累積投資制度を導入。

## 資産運用報酬体系の変更

資産運用会社に対する資産運用報酬額と投資主利益との連動性をより高めることを目的とし、運用報酬1及び3の見直しを行い、以下の変更を2020年5月26日第9回投資主総会にて決議。2020年9月1日（第33期初）から効力発生。

運用報酬	計算方法
運用報酬1 (総資産ベース)	【直前決算期末の翌日から3ヶ月】 直前決算期末総資産額×0.25% (従前0.3%)×日数 / 365日 【上記期間末日の翌日から期末まで】 (直前決算期末総資産額+取得資産価額-処分資産価額) ×0.25% (従前0.3%)×日数 / 365日
運用報酬2 (営業収益ベース)	直前決算期営業収益×2%
運用報酬3 (分配可能利益ベース)	(直前決算期の運用報酬3支払前の分配可能金額)×3.6% (従前2.0%)
運用報酬4 (取得報酬)	取得資産価額×0.5% (利害関係者からの取得の場合は取得資産価額×0.25%)
運用報酬5 (譲渡報酬)	譲渡資産価額×0.5% (利害関係者への譲渡の場合は取得資産価額×0.25%)